

# 令和元年度事業報告

## 1 長崎市版DMOの確立

- (1) 長崎市版DMOのあり方の検討及び専門人材確保
- (2) 各種データの収集・分析・共有・活用
  - ① 各種データの収集・分析
  - ② 多様な関係者とのデータ共有や戦略・課題解決施策の検討・実施
  - ③ 大学生による長崎の観光まちづくり事業
- (3) MICE振興
  - ① 観光庁「コンベンションビューロー機能高度化事業」の選定
  - ② MICE誘致強化の取組み
  - ③ MICE開催支援について
  - ④ MICE受入態勢の構築の取組み
  - ⑤ 長崎MICE誘致推進協議会、長崎MICE事業者ネットワークの取組み
- (4) インバウンド対策
  - ① 外国人観光客誘致
  - ② 受入態勢の充実
  - ③ 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

## 2 国内誘致・受入環境整備

- (1) 国内一般観光客の誘致宣伝
- (2) 国内修学旅行の誘致宣伝及び受入基盤の強化
  - ① 長崎県観光連盟との共催による学校等訪問活動
  - ② 長崎市国内観光客誘致推進実行委員会主催によるセールス活動
  - ③ 情報発信・情報収集
  - ④ 国内修学旅行の受入基盤の強化（長崎平和ガイドの運営）
- (3) 長崎さるく・まち歩き観光の推進
  - ① まち歩き・まち体験プログラムの企画・運営
  - ② 受入態勢の強化
  - ③ 情報発信

## 3 経営・財務基盤 その他

- (1) 売店等の収益力の強化
- (2) 地域受入基盤の強化
- (3) 長崎市からの受託
- (4) 観光地域づくりの支援
- (5) 経営管理委員会主導による事務局運営
- (6) 職員研修の実施
- (7) 会議、運営及び調査
- (8) 会員の異動（順不同）

# 事業実施の内容

## 1 長崎市版DMOの確立

令和元年度は、「長崎市版DMO」の最高マーケティング責任者であるCMO (Chief Marketing Officer)を配置するとともに、プロモーション・セールス、MICE誘致・受入の専門人材を順次採用し、組織の強化を図るとともに、各種データ分析、関係事業者との連携、インバウンド対策、コンテンツ造成について、取組みを図った。

### (1) 長崎市版DMOのあり方の検討及び専門人材確保

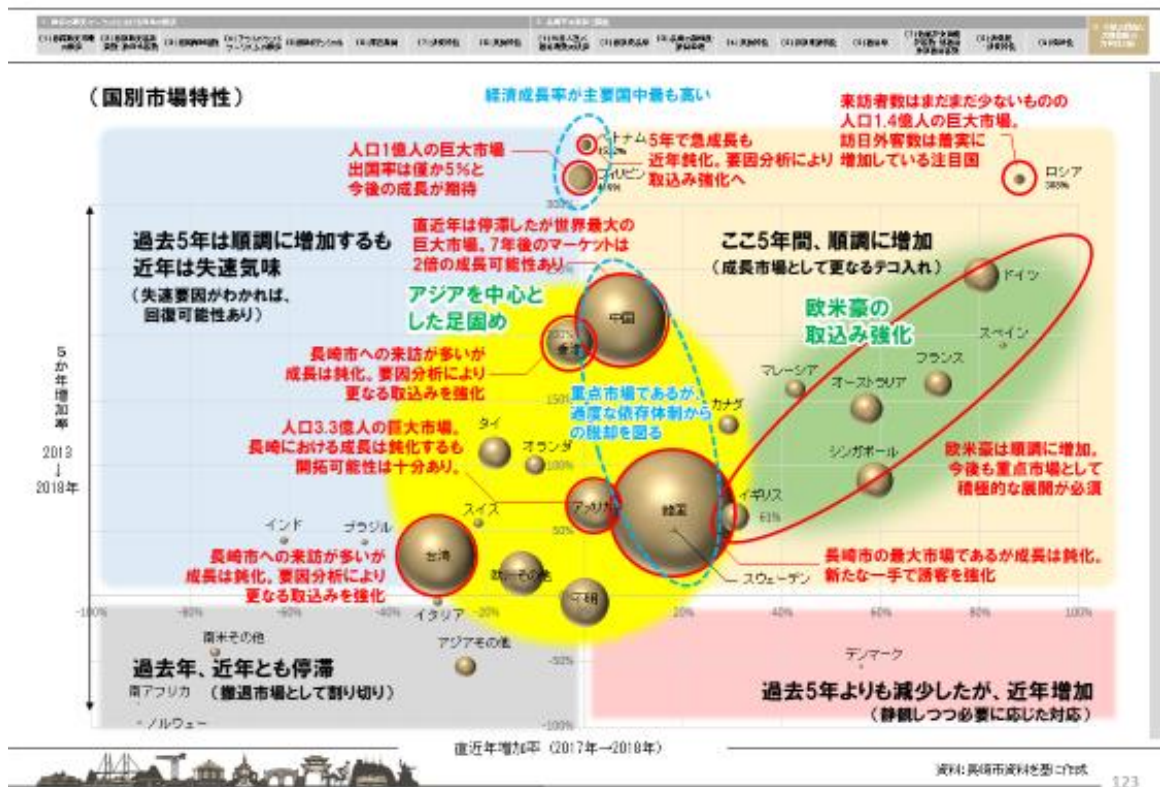
令和元年度、新たにDMO推進体制確立にあわせ、改めて「長崎市版DMO」のあり方について、長崎市役所と検討を行うとともに、それを実現していくための人材確保に取り組んだ。

### (2) 各種データの収集・分析・共有・活用

#### ① 各種データの収集・分析

##### ア 長崎市インバウンド環境分析

長崎市の観光統計・観光動向調査・HPログ等の各種データに加え、国連世界観光機関 (UNWTO) や観光庁・日本政府観光局 (JNTO) の統計データ、日本政策投資銀行の調査データおよびスマホの位置情報データなどを収集し、長崎市のインバウンド環境分析を行った。



### イ 博多駅における長崎専属コンシェルジュによる誘客プロモーション分析

1/11 から 3/30 までの約 3 か月間、九州における外国人観光客の主なゲートウェイとなる博多駅の観光案内所に、長崎市への誘客を行うコンシェルジュ

ユを配置し、外国人観光客の訪問意向を聴取するとともに、長崎市のおすすめの観光情報（観光施設、体験メニュー、食事、宿泊施設など）をコンシェルジュが提案することによって当初の訪問計画からどの程度長崎訪問へ変更できるのか、そのためには何がポイントとなるのかについて、定量・定性の両面からアンケートでは取得することが出来ない動向データを収集し、傾向等の把握を行った。

接客数	うち 提案数	うち 行動変容数	うち 新規数 (未予定)	宿泊提案数	うち 新規宿泊数
376 組	271 組	165 組	43 組	48 組	10 組
	うち 提案率	うち 行動変容率	うち 新規率 (未予定)	宿泊提案率	うち 新規宿泊率
	72%	61%	26%	29%	21%

## ② 多様な関係者とのデータ共有や戦略・課題解決施策の検討・実施

### ア マーケティング委員会の開催

日 時	会 場	内 容
3 月 11 日 (水) 14:00~16:00	長崎県美術館 講座室	令和元年度のDMOの取組及び令和2年度のDMO事業計画

### イ マーケティング・ラボの開催 (案)

⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により延期

日 時	会 場	内 容
3 月 18 日 (水) 14:00~16:30	ホテルニュー長崎 丹頂の間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DMOの今年度取組と今後の展望</li> <li>・ 「博多駅コンシェルジュ事業」プロジェクト報告</li> <li>・ Facebook を活用した国内、海外向けプロモーションとマーケティング、メディア構築プロジェクト報告</li> <li>・ 長崎市のインバウンドの現状と未来戦略の方向性</li> </ul>

### ウ ワーキンググループ

長崎の観光を目的としたクルージング事業の検討を行いながら、クルージング事業を通じた地域ブランドのマーケティングを行い、そのノウハウ蓄積をベースとした観光船造船運航フランチャイズ事業の立ち上げを目標としたワーキンググループを開催した。

	日 時	会 場	内 容
第1回	4 月 17 日 (水) 16:00~18:00	Hafh Nagasaki - SAI 2 階 会議スペース	経緯、視察報告、全体構造、目標等

第2回	5月9日(木) 14:00~17:00	Hafh Nagasaki - SAI 2階 会議スペース	疑問点や事業アイデア などの意見交換
第3回	6月11日(火) 14:00~16:00	スタートアップ交流拠点 CO-DEJIMA 大会議室	将来の目標、法規制等 に対する対応、集客対 策等
第4回	7月11日(火) 14:30~16:30	スタートアップ交流拠点 CO-DEJIMA 大会議室	入会規約、設計、初期 コスト等
第5回	8月20日(木) 18:00~19:30	茂木 中崎水産	設計、事業スキーム等
第6回	10月16日(水) 17:00~19:00	長崎県美術館 2階 講座室	採算シミュレーショ ン、デザイン等
第7回	11月20日(水) 15:00~18:00	スタートアップ交流拠点 CO-DEJIMA 大会議室	進捗状況報告、最終確 認事項

各所への視察等も実施し、独自財源による初期投資およびランニングコストを算定のうえ事業計画を検討したが黒字化は困難であった。しかしながら、今後は公助による事業の継続性を担保できるスキーム導入により、長崎港を観光資源とした交流人口の拡大を目指す取り組みの重要性の再認識が図られた。

### ③ 大学生による長崎の観光まちづくり事業

⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により発表会延期

長崎青年会議所が主体となり、座学および実地研修、視察等を経たチームごとの観光コンテンツ企画提案実施に対し年間を通してサポート・支援を行った。

回	日 時	研 修 内 容		講 師 等
1	4月15日	座学	オリエンテーション長崎の 観光まちづくりについて	長崎市文化観光部長 股張 一男 氏
2	4月20日	実地	長崎帆船まつり・観光客の洞察(課題 等の発見) ・日本開港五都市 PR	
3	5月11日	実地	長崎さるく体験	さるくガイド
4	5月31日	座学	専門家による観光まちづくり講座① ・インバウンド観光の最新動向 ・JTB長崎支店 ・NAGASAKI Cool	(株)日本政策投資銀行 地域企画部次長 中村 郁博 氏
5	6月14日	座学	専門家による観光まちづくり講座② ・長崎経済の見通し ・地元事業者からの経験談等 ・長崎市宿泊施設協議会	日本銀行長崎支店長 平家 達史 氏
6	6月21日	座学	観光ビッグデータ講座① ・ビッグデータとは ・観光ビッグデータの種類 ・観光ビッグデータの収集方	長崎大学 ICT 基盤センター 准教授 一藤 裕 氏

7	7月12日	座学	専門家による観光まちづくり講座③ ・ JAPAN BUETY を世界へ ～受け継いできた OMOTENASHI の DNA	株式会社資生堂 常勤監査役 宇野 晶子 氏
8	7月26日	座学	観光ビッグデータ講座② ・ 分析事例 ・ 分析結果の読み取り方	長崎大学 ICT 基盤センター 准教授 一藤 裕 氏 ソフトバンク株式会社 山崎 耕平 氏
9	8月30日	座学	観光ビッグデータ講座③ ・ 観光戦略及び観光政策に活用方	長崎大学 ICT 基盤センター 准教授 一藤 裕 氏 株式会社 NTT アド 中川 哲也 氏
10	10月5日	実地	観光ルート視察（路線バス利用） ・ 池島地区（炭鉱体験）	元炭鉱マンガイド
11	10月24日	座学	プロジェクトキックオフ ・ プロジェクトの実現に向けて ※以後各班で活動	長崎青年会議所 長崎大学 長崎国際観光C V協会
企画立案	10～3月 班ごとに随時実施		各班にて自主活動 ・ 各班に JC の担当者がつき伴走 ・ 関係者のヒアリング、アドバイス ・ 企画立案に向けた調査・研究	長崎青年会議所
12	12月12日	座学	テーマや着目した課題 問題に対しての手法	長崎大学
13	12月25日 ～ 12月27日	実地	観光まちづくり先進地視察	長崎青年会議所
14	1月10日	座学	プロジェクト途中報告会①	長崎青年会議所 長崎大学 長崎国際観光C V協会
15	2月14日	座学	プロジェクト途中報告会②	長崎青年会議所 長崎大学 長崎国際観光C V協会
16	2月28日	座学	プロジェクト途中報告会③	長崎青年会議所 長崎大学 長崎国際観光C V協会
17	3月21日	座学	プロジェクト最終報告会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

### (3) MICE振興

【MICE開催件数及び参加者数】

(単位：件、人)

大会種別	件数		人数			
	構成比	前年比	構成比	前年比		
学会・大会等	272	16.8%	111.3%	116,847	27.4%	178.3%
会議・研修会・ 一般会議・ シンポジウム等	943	58.3%	96.2%	110,380	25.9%	105.0%
展示会・イベント等	54	3.4%	216.0%	22,919	5.4%	245.6%
スポーツ	306	18.9%	116.3%	170,659	40.0%	115.2%
その他	44	2.7%	56.4%	5,981	1.4%	53.4%
合計	1,619	100.0%	102.0%	426,786	100.0%	125.7%

令和元年（平成31年）のMICEの開催人数は対前年2%増の1,619件、参加者数は、対前年26%増の426,786人となり全体の件数、参加人数ともに増加となった。

「学会・大会・式典」については、11月には、38年ぶりにローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が来日による約3万人のミサの開催などにより、同78%増、また「スポーツ」についても、プロ野球公式戦の開催などにより、同15%増となった。

昨年度、長崎市の新しい交流拠点施設については「出島メッセ長崎」と命名され、令和2年11月開業に向け、工事が進められているなか、当協会としても観光庁の「コンベンションビューロー機能高度化事業」に選定され、海外コンサルタントによる指導を受けるとともに、団体事務局となっている「長崎MICE誘致推進協議会」や「長崎MICE事業者ネットワーク」と一体となり本格的な誘致活動の推進と受入態勢の構築に向け、取組みを行ってきた。

#### ① 観光庁「コンベンションビューロー機能高度化事業」の選定

観光庁が実施した「コンベンションビューロー機能高度化事業」に、当協会が選定され、MICE誘致力強化を図った。

この事業は、グローバルMICE都市に続く、MICE誘致・開催に能動的な活動を行っているモチベーションの高い都市に対して、更なるMICE誘致力強化を図るために、観光庁が、高度な知識を有するコンサルタントを派遣し、コンベンションビューロー・自治体に対して実施するコンサルティングであり、当協会を中心にMICE関連事業者、団体が参加するワーキングを数回行うなど以下のコンサルティングを受けた。

1. MICEに特化したブランド開発に関するトレーニング
2. 地域のステークホルダーと連携した自都市の地域資源の分析に関するトレーニング及びコンサルテーション
3. 国際会議誘致の際のビッドペーパー作成に関わるコンサルティング

## ② MICE誘致強化の取組み

### ア 長崎市、株式会社ながさきMICEとの連携強化

「出島メッセ長崎」など、市内でのMICE誘致を加速させていくため、長崎市、株式会社ながさきMICEと情報共有のシステム構築や共同セールスなど、連携強化を図った。

### イ 商談会への参加

海外商談会については、共同参画を予定していた他都市の不参加により、見合わせることとなったが、東京にて開催の以下の海外及び国内のバイヤーを対象とした商談会に参加し、PRを行った。

- ・MEET JAPAN
- ・IME（国際MICEエキスポ）

### ウ セールス（首都圏、地元）

大学など地元団体へのヒアリング及びセールスとともに、首都圏についてもMICE関係のセミナー、IME（国際MICEエキスポ）などの商談会、観光庁等の会議に合わせて、

①7月16日～17日、②11月13～14日、③1月21～22日、④2月25～27日の計4回、MICE開催情報等データベースを活用したターゲットをしぼった誘致を行った。

## ③ MICE開催支援について

### ア コンベンション開催補助金等による支援

#### (ア) コンベンション開催補助金

長崎市で開催されるコンベンションの主催者に対し、助成金を交付することで、長崎市におけるコンベンションの開催を促進する。（各県持ち回り九州大会の助成額は1/2）

<文化・学術コンベンション（九州大会以上）>

延べ宿泊者数	助成額	件数
200人以上300人未満	200,000円	3件
300人以上500人未満	300,000円	10件
500人以上1,000人未満	500,000円	4件
1,000人以上1,500人未満	1,000,000円	1件
1,500人以上2,000人未満	1,500,000円	3件
2,000人以上3,000人未満	2,000,000円	2件
3,000人以上	3,000,000円	3件

<文化・学術コンベンション（各県持ち回り九州大会）>

延べ宿泊者数	助成額	件数
200人以上300人未満	100,000円	5件
300人以上500人未満	150,000円	0件
500人以上1,000人未満	250,000円	1件
1,000人以上1,500人未満	500,000円	0件
1,500人以上2,000人未満	750,000円	0件

2,000人以上3,000人未満	1,000,000円	0件
3,000人以上	1,500,000円	0件

(イ) オフシーズン（12月～2月）コンベンション開催助成金

延べ宿泊者数	助成額	件数
300人以上500人未満	50,000円	1件
500人以上1,000人未満	100,000円	0件
1,000人以上2,000人未満	150,000円	0件
2,000人以上	200,000円	1件

(ウ) アトラクション出演料の一部助成

延べ宿泊者数	助成額	件数
1,000人以上2,000人未満	50,000円	1件
2,000人以上	100,000円	1件

(エ) 長崎観光ガイドブック等の作成提供

コンベンション交付資料	提供予定部数	提供部数
長崎観光ガイドブック	80,000部	44,040部
キャリーバッグ	35,000部	41,052部
大会資料詰用封筒（角2）	30,000部	24,917部

(オ) 歓迎看板の掲示（路面電車側面、長崎駅、長崎空港）

歓迎看板	掲示予定件数	掲示件数
路面電車側面	20件	9件
JR長崎駅	30件	21件
長崎空港	72件	18件

(カ) 長崎ブリックホール等の優先利用予約

(キ) 観光施設等の割引の斡旋

(ク) コンベンション支援業者（協会会員）との連携及び紹介

イ 誘致支援制度の見直し・検討

コンベンション開催補助金など、開催支援サービスのあり方について、長崎市との意見交換を行った。

④ MICE受入態勢の構築の取組み

ア ワンストップ型の受入環境の整備

(ア) 相談・コーディネート機能

優先予約、ユニークメニューなど、主催者の要望に応じた的確なアドバイス対応を行った。

(イ) 開催前後のフォローと継続的な主催者ニーズの把握

コンベンション開催中及び開催後の主催者フォローアップを行った。

イ 官民による受入態勢の構築



コンベンション誘致のための魅力発信

- (ア) グラバー園、出島及び出島ワーフ等、既存のユニークメニューをPRした。
- (イ) アフターコンベンションをパンフレットやHP上でメニュー化を図り、情報発信を行った。

⑤ 長崎MICE誘致推進協議会、長崎MICE事業者ネットワークの取組み

長崎市全体での誘致、受入効果を高めるための各団体の事務局として取り組んだ。

【長崎MICE誘致推進協議会（令和元年8月23日（金）総会）】

- ・「出島メッセ長崎」名刺・台紙の作成
- ・「出島メッセ長崎」の誘致活動ノベルティの作成
- ・地方都市コンベンション協議会商談会参加（2会員参加）
- ・学会誘致支援（1組）

【長崎MICE事業者ネットワーク（令和元年8月29日（木）総会）】

- ・MICE関連事業者の紹介ホームページ作成
- ・「出島メッセ長崎」開業2年前イベントの開催  
日 時：令和元年11月28日（木）～12月1日（日）  
場 所：JR長崎駅 「かもめ広場」を中心に展開  
参加人数：約5,000人  
目 的：MICE施設の市民への遡及  
：MICE開催のマチナカへの波及を狙う
- ・長崎MICEスクールの協賛、運営
- ・幹事会

(3) インバウンド対策

インバウンド対策としては、公式HPの維持・改修に加えてSNSを活用したプロモーションを行うほか、外国人向けコンテンツ造成など、外国人の誘客を促す仕組みづくりに取り組んだ。

① 外国人観光客誘致

ア 公式HPの維持管理・更新等によるプロモーション・セールス

【長崎市受託事業】

国内外に一元的に情報を発信するため、ワンストップサイトの維持管理に取り組んだ。

(ア) 「あっ！とながさき」維持管理

スポット情報、イベント情報を最新の状態にするため、市や各施設、事業者などと連携し掲載内容および写真データの更新を実施した。

(イ) 「あっ！とながさき」多言語サイト更新・改修

英語サイトにおいて新たにモデルコースの運用システムを導入し、5つのモデルコースを掲載した。また、特集ページに体験メニューの紹介としてTRIPLUS（簡体、繁体も対応）、NAGASAKI WALKS、NAGASAKI WELLNESSのページを追加した。

<ホームページの年間アクセス数（セッション数）>

年度	日本語	英語	韓国語	繁体語	簡体語
平成30年度	1,854,183	70,480	13,442	48,759	10,727
令和元年度	1,245,436	68,763	5,543	59,446	10,236
増減	-608,747	-1,717	-7,879	10,687	-491

(ウ) SNSによる情報発信

英語版 Facebook アカウント「Visit Nagasaki」を開設し長崎の観光情報記事の投稿を61回実施し、合わせていいね広告等を継続的に展開。3/31時点で53,129人のフォロワーを獲得した。

<フォロワー数上位10の国と地域>

フィリピン	アメリカ	マレーシア	タイ	イタリア
14,234人	6,985人	6,160人	3,979人	3,017人
オーストラリア	ドイツ	インドネシア	香港	台湾
2,379人	2,149人	2,026人	1,706人	1,602人

イ 海外誘客プロモーション・セールス【長崎市受託事業】

(ア) 多言語パンフレット作成

長崎市より英語、韓国語、簡体字、繁体字のMAPデータを受領のうえ作成した。また、海外の旅行博や展示会等ならびに市内ホテルやランドオペレーター社等へ累計約7,000部発送しPRを図った。

長崎市より英語、韓国語、簡体字、繁体字のランタンフェスティバルの多言語パンフレットデータを受領のうえ作成した。また、英語のパンフレットデータを活用し、東京都営地下鉄用のポスターを作成。1/10から2/9までの1か月間、浅草線300枚、新宿線310枚、三田線250枚の合計860枚を3路線の車内に掲示し東京都内の外国人へのプロモーションを実施した。

(イ) 航空会社と連携したメディア及び旅行社の招聘とプロモーション

全日本空輸と連携し豪州の現地メディア担当者4名をくち期間中に招聘し、現地雑誌やWEB等による情報発信を実施した。

(ウ) 夜景サミットにおけるプロモーション

市と共に「夜景サミット in 上海」へ出展し上海の旅行会社等へのプロモーションを実施した。

(エ) 県観光連盟と連携した現地旅行社及びマスコミ招聘

JNTO、九州観光推進機構、県観光連盟との連携およびランドオペレーター事業者等との直接対応によりファムトリップ等実施にあたっての観光施設減免対応や当日のアテンド対応を実施した。

スイス(5/26)、フランス(12/5)、韓国(2/24)各1回、フィリピン(7/17、9/3~4、11/9)、マレーシア(5/14、6/25、1/7)各3回実施

② 受入態勢の充実【共催事業】

ア 国際クルーズ客船の受入対応

県・市と連携し、誘客増加に向けた取組、おもてなし充実、受入環境の整備活動に参画した。

③ 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

(実施主体：九州運輸局)

欧米豪市場を中心とした、海外旅行には頻繁に行くが日本を旅行先として認知・意識していない層をターゲットとした、観光庁・JNTOによる情報発信「Enjoy my Japan グローバルキャンペーン」に活用できる新たな滞在型コンテンツ等の造成について、九州運輸局と連携し実施した。

ア 「長崎刺繍」を活用した伝統文化体験と名製品の開発

実施主体	公益財団法人 ながさき地域政策研究所
事業内容	立体的かつ写実的で、真珠やサンゴなど多くの装飾品が使われる豪華絢爛な「長崎刺繍」の鑑賞、徹底した外国人目線でのガイド養成による専門ガイドの解説や簡易的な縫い付け体験プログラムとその原材料である「真珠」等の施設見学ツアーの開発および、長崎刺繍や真珠等の名製品の企画開発を行い、欧米豪の訪日旅行者の満足度向上と土産品購入に繋げる。
実施内容	7/18：キックオフ会議実施 9/24：コンテンツ造成検討会議実施 10/24：長崎真珠視察 12/15、21、22：ガイド講習実施 1/9：コンテンツ造成検討会議実施 1/30～2/2：モニターツアー実施 3/3：コンテンツ造成検討会議実施
事業の成果	検討会・分科会の開催、ガイド育成、モニターツアーの実施を通し、予定通り3本のコンテンツと3種類の名産品を造成することができた。 モニターツアーではターゲットとしている欧米系外国人および豪州の日本旅行専門ツアー会社担当者などに意見を聞くことができ、外国人目線でのコンテンツ造成に繋がった。 完成したコンテンツはFUSOjapanのWEBサイトで販売を進め、アソビューなどグローバルサイトでの単品販売・プロモーションや、ホテルと連携したセット販売・単品販売などを通じて実績拡大に繋げていく予定。

イ 長崎市茂木地区の食と自然を満喫できるグリーンツーリズム体験の企画開発

実施主体	株式会社 KCS
事業内容	「ビワ」をはじめとした果物や橘湾から水揚げされる「ハモ」「足赤エビ」などの水産物と、「布引の月」と呼ばれるとても美しい満月が鑑賞できる長崎市茂木地区において、これらをセットで体験できる滞在型コンテンツを提供する仕組みづくりを行う。 また、『月』をコンセプトにしたナイトツーリズムの充実を図り長崎市内での滞在日数を伸ばす。
実施内容	8/9：キックオフ会議実施 8/28、9/3、9/20：地元での会議実施 9/20：第1回コンテンツ造成検討会実施 9/21：第1回ワークショップ実施

	<p>10/16、17：第2、第3回ワークショップ実施  11/20：第4回ワークショップ実施  12/16～18：モニターツアー実施  1/22：第5回ワークショップ実施  1/30：第2回コンテンツ造成検討会議実施  2/12：第6回ワークショップ実施  3/6：第3回コンテンツ造成検討会議実施</p>
事業の成果	<p>検討会・ワークショップの開催、モニターツアーの実施を通し、10本のコンテンツを造成することができた。モニターツアーではターゲットとしている欧米系外国人に意見を聞くことができ、外国人目線でのコンテンツ造成に繋がり、また茂木地区における観光資源の魅力やその活用可能性が高い事について確認ができた。</p> <p>「名物メニューの開発」については、2020年4月の目標1に対して実績は0となった。ワークショップにおいては名物メニューになりうるアイデアがいくつか上がったが、実現に向けた課題もあるため、今後解決策を模索していく。</p> <p>今回造成できたコンテンツは茂木地区の地域活動の主体であり、また外国人観光客も多い宿泊施設「NAGASAKI HOUSE ぶらぶら」が予約やコンテンツの提供を行っていくことで調整していたが、コロナの影響により今後の体制は改めて調整する予定である。</p>

ウ 潜伏キリシタン関連遺産をテーマにした欧米市場向け滞在型ツアーコンテンツの開発

実施主体	株式会社 wondertrunk&co.
事業内容	2018年7月に世界文化遺産登録された潜伏キリシタン関連遺産をフックにした、滞在型ツアーコンテンツの造成・販売することで、欧米圏から長崎市及び五島列島に外国人旅行客誘致を拡大する。
実施内容	<p>7/19：キックオフ会議実施  8/20：CV協会との会議実施  10/上旬：モニターツアー実施  10/10：ワークショップ実施</p>
事業の成果	<p>本事業の地域資源に関する調査・ワークショップ・モニターツアーの実施により、新たな欧米豪市場のニーズが明らかとなった。2019年に新規造成したコンテンツの積極的な売り込みに加えて、欧米豪市場からの個人旅行者をさらに誘客するためには、地域コミュニティの一員となり、地域の方々を巻き込みながら動ける人材の発掘と育成が欠かせないということを認識した。完成したコンテンツは株式会社 wondertrunk&amp;co. の英語版サイトに掲載の他、今後時期をみて、海外での販売会に参加するなど訪日客を呼び込むことに繋げる予定。</p>

## 2 国内誘致・受入環境整備

国内一般観光客の誘致は、2つの世界遺産及び夜景観光を中心とした誘致宣伝活動を行った。

修学旅行は、長崎市宿泊施設協議会、観光施設等と連携し、閑散期の誘致と新規校開拓によるシーズン平準化を目指し、積極的に誘致活動を行なった。

### (1) 国内一般観光客の誘致宣伝

「世界新三大夜景」「日本新三大夜景」に認定されている長崎夜景、世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」等を旅行会社等へ情報発信するとともに、他都市と連携し物産展やイベントへ参加することでの広域的な観光宣伝を行った。

#### ① 国内一般観光客誘致宣伝活動

ア 共催事業による誘致宣伝活動

(ア) 旅行会社等への誘致宣伝活動

- a 九州観光推進機構等とのタイアップによるセールス活動の実施  
令和元年度下期観光商品素材対象（九州観光推進機構説明会）

日 程	場 所
5月15日	名古屋
5月23日	広島
5月24日	大阪
5月29日	福岡

令和2年度上期観光商品素材対象（九州観光推進機構説明会）

日 程	場 所
9月4日	東京
9月13日	大阪
9月25日	福岡

- b 長崎県観光情報説明会

日 程	場 所
10月7日	五島市

(イ) 旅行会社販売促進助成金

長崎市内での宿泊客の増及びイベントや観光施設等への誘客を図る企画旅行商品の造成及び販売促進を支援する旅行会社向けの助成を行った。

申請実績： 3件（前年1件）

長崎市内宿泊客送客数：1,641人（前年951人）

(ウ) プロモーション活動

日 程	会 場	イベント名
7月6日～9月1日	ホテル雅叙園 東京	「目黒雅叙園和のあかり展」へラ ンタン出展
7月19日	NHK福岡	「はっけんTV」ペーロン選手権 大会PR
9月28日～29日	熊本市	火の国・元気まつりへの参加
10月24日～27日	大阪市	「ツーリズムEXPO ジャパン2019」 長崎県共同観光ブースへ出展
11月24日	新潟市	Jリーグ アビレックス新潟戦「開

		港5都市親善マッチ」PR
1月15日	NHK福岡	「はっけんTV」長崎ランタンフェスティバルPR

(エ) その他宣伝活動

市東京事務所において、首都圏でのイベント参加や宣伝活動を実施した。

イ イベントの実施及び助成による観光客誘致

(ア) イベントの実施

日程	イベント名
4月7日	平成31年長崎ハタ揚げ大会
7月27日～28日	令和元年度長崎ペーロン選手権大会

(イ) イベントの助成【共催事業】

日程	イベント名
4月18日～22日	2019長崎帆船まつり
4月27日	開港448周年記念行事(先賢顕彰式、ロマン長崎選彰式)
7月27日～28日	2019ながさきみなとまつり
9月14日～16日	2019長崎居留地まつり
10月7日～9日	長崎くんち(くんちの夕べほか)
1月24日～2月9日	2020長崎ランタンフェスティバル

ウ 他都市連携【共催事業】

(ア) 他都市観光宣伝隊及び事前調査班等の受け入れ

(イ) まつり交流観光誘致宣伝

日本開港五都市や九州各地の代表的なイベントに参加し、ロマン長崎によるPRやパンフレット配布等の宣伝活動を行った。

行事名	派遣先	期日
第49回神戸まつり	神戸市	5月19日～20日
まつり えれこっちやみやざき2019	宮崎市	7月13日～14日
函館港まつり	函館市	8月2日～3日
第38回大分七夕まつり	大分市	8月2日～3日
新潟まつり	新潟市	8月9日～10日
第49回那覇大綱挽まつり	那覇市	10月12日
2019サガ・ライトファンタジー及び佐賀熱気球世界選手権	佐賀市	10月30日～31日
第68回おはら祭	鹿児島市	11月2日～3日
ベップクリスマスファンタジア2019	別府市	12月21日～22日

エ 日本開港五都市観光協議会との共同宣伝

「安政の開国」により開港された函館・新潟・横浜・神戸・長崎の五都市観光協会は、昭和60年11月21日長崎市で「日本開港五都市観光協議会」を結成し、各都市の健全な観光振興のため共同宣伝を行うとともに、「キャ

ンペーンレディ等」の派遣と親善交流に努めた。

#### オ ながさきの「食」の活用【共催事業】

##### (ア) ながさきの「食」推進

長崎市と連携した「食」の普及や全国へのアピールの推進、特産品に関するインターネットでの情報発信やブランド化の推進、県内外での物産展開催、販路の開拓や拡大などの事業に協力するとともに、旅行商品造成に努めた。

##### (イ) 長崎街道シュガーロードの活用

長崎街道シュガーロード沿線の3県8市の行政・民間団体・企業と連携を図り、広域的な観光振興につなげた。

## (2) 国内修学旅行の誘致宣伝及び受入基盤の強化

評価指標	令和元年	平成30年	前年比
長崎市修学旅行延べ宿泊者数	222,057人	233,371人	95.2%

令和元年長崎市の修学旅行延べ宿泊者数（長崎県観光振興課 速報値 1,779校 222,057人前年比 95.2%）は、平成28年4月の熊本地震の影響から、来校数は回復傾向ではあるが、平成27年比約87.2%と依然厳しい結果となった。

2022年の学習指導要領の改訂（高校）に伴い、長崎市宿泊施設協議会と連携し取り組んでいる新たな学習プログラム「アクティブラーニングを活用した平和学習」は、2校目の都立高校を受入れた。課題はあるものの学習効果が認められ次年度へ繋げることができた。

また、「長崎平和ガイド」は、生徒が地元の人とふれあうことができ、安心安全で深い学習ができることから、高い評価を受け34,151名（前年比104.9%）の修学旅行生を案内した。

### ① 長崎県観光連盟との共催による学校等訪問活動

日程	訪問地	訪問校数
7月16日～18日	神戸市、高槻市、門真市、八尾市、守口市（中学校）	188校
11月20日～22日	津市、四日市市、桑名市、岐阜市、他（高校/中学校）	93校

### ② 長崎市国内観光客誘致推進実行委員会主催によるセールス活動

#### ア 「アクティブラーニングを活用した平和学習」の受入実績

学校名：東京都立向ヶ丘高等学校 生徒311名＋教職員13名 計324名

日時：令和元年12月9日(月) 16:00～17:30

内容：「平和公園と原爆落下中心地の見学」「被爆体験講話の聴講」、「長崎純心大学との交流会」など一連の平和学習プログラムを実施した。

効果：令和2年度に繋げることができ、令和3年度も継続の見込み。

#### イ 感動長崎 修学旅行ナビ本の作成

修学旅行誘致活動において、学校及び旅行会社へPRするツールとして活用するパンフレットを製作した。

製作部数：8,000部

### ③ 情報発信・情報収集

- ア ホームページ「感動長崎修学旅行ナビ」の運営  
タイムリーな情報提供を行うため新着情報、お客様の利便性を踏まえ更新作業を行なった。
- イ 日本修学旅行協会、全国修学旅行研究協会との連携  
教職員や旅行会社などに発行する「月刊誌 教育旅行」へ長崎市の観光情報の掲載や、「修学旅行ニュース」の提供、ウェブ上での観光情報のアップなど情報発信の連携をした。

### ④ 国内修学旅行の受入基盤の強化（長崎平和ガイドの運営）

ア 長崎平和ガイドの活動実績

区分	内 訳	令和元年度	平成30年度	前年比
小学校	学校数	335校	289校	116%
	案内人数	20,987人	19,196人	109%
	延べガイド数	2,333人	2,068人	113%
中学校	学校数	79校	83校	95%
	案内人数	7,839人	8,398人	93%
	延べガイド数	767人	909人	84%
高等学校	学校数	38校	37校	103%
	案内人数	5,325人	4,968人	107%
	延べガイド数	557人	546人	102%
合計	学校数	452校	409校	111%
	案内人数	34,151人	32,562人	105%
	延べガイド数	3,657人	3,523人	104%

平和ガイドの延べ活動数及び案内人数は前年比微増の結果となったが、中学生が減少した理由として、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受け3月の4校486名がキャンセルになったことが主な要因と考えられる。

また、繁忙期において民泊の需要が多くなり、市内滞在の時間が限定されガイド申込がキャンセルになったことも一因と思われる。

イ 登録数 191名（令和2年3月31日現在）

ウ 会議・研修会の開催

（ア）新規育成講座の実施（新規）

日 程：令和元年11月26日（火）～12月20日（金）間の10日間

場 所：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、原爆資料館、被爆遺構等

応募者数：19名

登録者数：15名（男性6名、女性9名）

（イ）全体会議、班長会議の開催

会議名	回	日 程	場 所	参加人数
全体会議	第1回	4月6日	長崎商工会館2階ホール	53名



	第2回	2月20日	長崎歴史文化博物館	68名
班長会議	第1回	5月7日	出島交流会館	10名
	第2回	7月30日	出島交流会館	10名
	第3回	12月20日	長崎原爆死没者追悼平和祈念館	9名
	第4回	2月12日	出島交流会館	10名

(ウ) コース研修の実施 <コース別参加人数>

日程	山王神社 コース	城山小学校 コース	原爆資料館 平和追悼祈念館	参加人数
7月7日	17名	9名	20名	46名
7月9日	9名	10名	21名	40名
合計	26名	19名	41名	86名

(エ) 平和に関する講話の受講

日程	講師・「テーマ」	場所	参加人数
4月6日	長崎大学核兵器廃絶研究センター 副センター長 広瀬 訓 教授 「核兵器をめぐる最近の流れ」	長崎原爆資料館 平和学習室	18名
8月31日	宗教法人カトリック長崎大司教区 教区本部事務局長 中濱敬司氏 「ローマ法王の平和メッセージと 訪日・来崎の意味するもの」	長崎原爆資料館 平和学習室	25名
2月8日	(公財)放射線影響研究所 顧問 中村 典氏 「ABCC・放影研の過去と現在」	長崎原爆資料館 平和学習室	12名

※開催は、長崎平和案内人との合同研修。

(3) 長崎さるく・まち歩き観光の推進

評価指標	計 画	令和元年度	平成30年度	前年比
通さるく参加者数	6,500人	4,559人	5,541人	82%
学さるく参加者数	3,200人	3,042人	3,026人	101%
さるく参加者満足度	80%	89%	88%	101%
修学旅行(歴史学習)	2,000人	1,275人	1,824人	70%

令和元年度のさるく(通・学・修学旅行)参加者数は、目標11,700人に対し、実績は8,876人で目標に達成できなかった。また、平成30年度と比較しても減少であった。主な要因としては、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受け、2月～3月期間中約200人のキャンセルが発生した。一方、満足度においては、前年度を上回り高い評価を得た。

また、期間限定のランタンさるくは、当日参加者も受入可能にした結果、昨年度を上回る591人が参加した。

① まち歩き・まち体験プログラムの企画・運営

ア 通さるく(ガイド付まち歩き)

(ア) 期間限定ランタンさるくのコース及び料金の見直し

- ・ 3 コースを 1 コースとし、メインの 4 会場を巡る分かりやすいコースに変更
- ・ 有料施設をコースから除外し、参加しやすい料金に設定した。
- ・ 事前予約制を当日参加者も受入れ可能とした。

(イ) 参加料の見直し

- ・ 定番コースの参加料を見直し、収益の増額を図った。

区 分	内 訳	令和元年度	平成 30 年度	前年比
通さるく (定番コース)	実施件数	582 件	779 件	75%
	案内人数	3,813 人	4,992 人	77%
通さるく (期間限定)	実施件数	165 件	80 件	206%
	案内人数	618 人	504 人	123%
通さるく (フリープラン)	実施件数	21 件	21 件	100%
	案内人数	128 人	115 人	111%
合 計	実施件数	768 件	880 件	87%
	案内人数	4,559 人	5,541 人	82%

地域別通さるく参加者：長崎市内 1,692 人 (37.1%)

※うち 964 人が市内小・中学校による教育用さるく

長崎県内 113 人 ( 2.5%)

県 外 2,617 人 (57.4%)

不 明 137 人 ( 3.0%)

イ 学さるく (専門家による多種多様な講座・体験とまち歩き)

(ア) コース企画の充実

幅広い企画募集とパンフレット紙面の効果的活用により、掲載コースを昨年度より毎回平均 5 つ以上増加した。また、定番コースの充実に加え初登場企画も取り揃えた。

(イ) 案内状の改良

お客様への案内状をホームページ画面印刷から必要項目を見易く簡潔にまとめたものへ改良した。また、お客様の満足度向上・送付手順の簡略化・案内状の枚数減により郵送経費の削減を行った。

(ウ) SNS による広報宣伝

SNS (主に Facebook・Twitter) において、さるく実施報告をおこなひ、より多くのお客様へ周知とアピールを行った。

(エ) 学さるく CREW カードの発行

収益率が高い学さるくのリピーターの定着を目的に、参加回数に応じたリピーター証を発行し、賞品提供等の特典を昨年引き続き実施した。

10 回以上参加者 50 人、30 回以上参加者 30 人

区 分	内 訳	令和元年度	平成 30 年度	前年比
学さるく	実施件数	227 件	232 件	98%
	参加人数	3,042 人	3,026 人	101%

学さるく参加地区内訳：長崎市内 2,595 人 (85.3%)

長崎県内 297 人 ( 9.8%)

県 外 148 人 ( 4.8%)  
不 明 2 人 ( 0.1%)

ウ 修学旅行生へのガイド対応 (平和ガイド対応以外)

平和学習以外の歴史学習等を目的とした修学旅行生のフィールドワークにガイドを派遣した。

区 分	内 訳	令和元年度	平成 30 年度	前年比
小 学 校	学 校 数	4 校	10 校	40%
	案内人数	379 人	839 人	45%
	延べガイド数	45 人	92 人	49%
中 学 校	学 校 数	7 校	2 校	350%
	案内人数	553 人	265 人	209%
	延べガイド数	64 人	29 人	221%
高等学校	学 校 数	7 校	13 校	54%
	案内人数	343 人	720 人	48%
	延べガイド数	45 人	84 人	54%
合 計	学 校 数	18 校	25 校	72%
	案内人数	1,275 人	1,824 人	70%
	延べガイド数	154 人	205 人	75%

エ 文化庁メディア芸術祭長崎展 ARまちあるき@長崎ツアー協力

文化庁が主催する「文化庁メディア芸術祭長崎展」において、AR (拡張現実) 技術を使い現在の風景とタブレット端末に映し出される昔の景観とを比較しながらベイエリアをさるくガイドの案内によるツアーを実施した。

実 施 日 : 1月11日(土)、12日(日)、13日(祝)、18日(土)、19日(日)

時 間 : 10:30~12:30、14:00~16:00 【1日2便】

コ ー ス : 長崎県庁 (スタート) ~ベイエリア(出島ワープ、大浦海岸通り、オランダ坂等)~長崎県美術館 (ゴール)

参 加 料 : 無料

参加者数 : 計 91 名

② 受入態勢の強化

ア ガイド力向上を目的とする研修の実施

(ア) 新規ガイド育成

市民とともに地域連携協定を提携している長崎純心大学からは授業として受講があった。

研修期間 : 9月7日~29日の全11回 (座学及び現地研修)

研修生 : 純心大生 36名 (うち35名全員がガイド資格取得)

一 般 者 23名 (うち20名全員がガイド資格取得)

※ガイド登録人数 : 295名 (令和2年3月31日現在)

(イ) コース資格取得研修

茂木地区さるくガイドの増員及び参加者が多い出島コース、コースを変

更した期間限定ランタンさるくの研修を行った。

通さるくコース研修	
「茂木みなと散歩」コース 開催日：4月30日 参加者3名	
「出島タイムスリップ」コース 開催日：11月23日 参加者21名	
期間限定さるくコース研修	
ながさき紫陽花さるくⅠシーボルトと愛のお滝さん花 開催日：5月11日 参加者：2名	
ながさき紫陽花さるくⅡシーボルトの寄り道 開催日：5月18日 参加者：3名	
ランタンさるく 主要4会場を巡る！ 開催日：11月22日、26日、12月8日 参加者：延べ94名	

(ウ) スキルアップ研修

ガイドの基本的対応の再認識のため、救命講習等を実施した。

研修名	開催日	講師	参加者数
普通救命講習	4月18日	長崎市消防局	29名
熱中症対策講座	6月4日	大塚製薬	29名
普通救命講習	6月23日	長崎市消防局	20名
交通安全教室	8月21日	長崎警察署交通課	37名
ホスピタリティ講座	10月21日	ホテルニュー長崎 宿泊部コンシェルジュ 大串康紀氏	27名
視覚障害者対応講座	12月19日	長崎市社会福祉協議会 ボランティア室室長 富永敦志氏	16名

(エ) グループ研修

ガイド間の交流や資質向上を目的に、自主的なガイドグループを編成し各種研修を自主的に実施した。編成した5グループに対し研修活動費を助成した。

イ 参加者の利便性向上を目的とするガイドステーションの運営

通さるくスタート地の原爆資料館を含む、現地集合場所計8か所での受付業務を行った。

ウ さるく見聞館推進協議会の運営

長崎のまちの伝統や文化、くらしを伝えるまち歩きスポットとして、旧家や老舗の18店舗が加盟。訪れる観光客に仕事場や生活を公開し説明を行った。

(ア) さるく見聞館まつりの開催

内容：18店舗が出店し、来場者にクイズ形式で各店舗の歴史を紹介した。凧作り体験、ビードロストラップ体験、三菱重工業長崎造船所関連の写真展示等で集客に努めた。

- 日 程：10月20日  
 会 場：ベルナード観光通り  
 エ 長崎サミット「観光」おもてなしの充実・推進による「おそうじさるく」への協力の協力  
 4月13日、10月5日の2件実施し、計58人をご案内した。

### ③ 情報発信

- ア パンフレットの発行  
 (ア) 通さるくパンフレット 通年 35,000部  
 (イ) 学さるくパンフレット 春号、夏号、秋号、新春号 計 60,000部  
 イ ホームページ  
 CMS（コンテンツ管理システム）により、スタッフ自身がWebサイトの修正や更新を行い、最新情報の提供を行った。  
 ウ 旅行会社商品への通さるくの組込み  
 JTB：「西九州ロマン紀行」  
 HIS：「西九州周遊紀行」  
 日本旅行：赤い風船 全商品対象  
 日本空輸：「龍馬がゆく！坂本龍馬ゆかりの地を巡る長崎2日間」  
 エ 「じゃらん」ネット販売  
 ランタンフェスティバル期間限定コース  
 オ SNS（Facebook、Twitter、LINE）を活用した情報発信  
 案内風景、お客様やガイドの感想等を写真や文章で定期的に発信し参加促進に繋げた。  
 カ 長崎県電子書籍ポータルサイト「Nagasaki ebooks」への掲載  
 キ 雑誌、テレビ、新聞等広報宣伝  
 (ア) 雑誌 「まっふる長崎」「るるぶ長崎」「るるぶ九州」「九州春 Waiker」「ココミル長崎」「旅ムック」「リーク」等  
 (イ) テレビ NBC「あっぷる」、BS-TBS「美しい日本に出会う旅」  
 (ウ) 新聞 西日本新聞（ファンファン福岡）、長崎新聞（大江戸瓦版）、旅行新聞  
 (エ) その他 「わお！マップ」、ふくおかサポートネット配信、長崎県・長崎市の旅行商品素材集への掲載等

## 3 経営・財務基盤 その他

### (1) 売店等の収益力の強化

単位：千円

項目	年度	R元年度 計 画	R元年度 実 績	H30年度 実 績	対前年比 実 績
グラバー園売店		15,820	10,876	15,348	▲4,472
出島売店		9,975	6,157	9,304	▲3,147
自由亭喫茶室		8,830	8,138	9,020	▲882
通信販売部		3,924	2,460	4,269	▲1,809
企画商品（長崎遊学券）		5,178	5,383	6,240	▲857

企画商品（周遊パスポート）	0	0	1,906	▲1,906
レトロ写真館	8,302	4,420	7,416	▲2,996
旅行商品	1,740	1,760	2,780	▲1,020
亀山社中物販	950	683	854	▲171
イベント販売	5,787	970	3,432	▲2,462
その他の収支	2,473	1,520	2,194	▲674
合計	62,979	42,367	62,763	▲20,396

① 売店、喫茶室等の運営及び協会事業運営円滑化のための収益力向上

計画利益額を 62,979 千円に設定していたが、達成率 67.2%の 42,367 万円に留まり達成できなかった。グラバー園入館者の伸び悩みにより施設内売店への影響は大きく、2 月以降は新型コロナウイルスによる外出自粛も加わり、利益減となった。

ア グラバー園売店

グラバー園のアニメ企画展 11/1～1/5「色づく世界の明日から」に合わせ特設コーナーを設け商品の販売を行った。

季節感を演出し販売促進ため特設コーナーを設置した。

(涼感グッズ・夏の味覚・くunchグッズ・ハンドクリーム等)

・QR コード決済 ペイペイ導入(8 月～)

・キャッシュレス 消費者還元事業参画

年間売上金額： 102,796,297 円 (前年度比 85.6%)

年間利用者数： 72,442 名 (同 83.6%)

年間販売商品数： 170,982 点 (同 83.5%)

年間入場者数： 768,685 名 (同 81.3%)

イ 出島売店

季節感を演出し販売促進のため特設コーナーを設置した。

(涼感グッズ・夏の味覚・くunchグッズ・ハンドクリーム等)

・QR コード決済 ペイペイ導入(8 月～)

・キャッシュレス 消費者還元事業参画

年間売上金額： 82,696,431 円 (同 89.6%)

年間利用者数： 74,331 名 (同 95.9%)

年間販売商品数： 153,303 点 (同 86.6%)

年間入場者数： 459,147 名 (同 86.3%)

ウ 自由亭喫茶室

接客スキルやモチベーションの向上を目的とした人材教育、グランドメニューの見直しにより売上向上を図った。

・長崎カフェ&スイーツへ参画し、市内事業者との連携を図った。

・「ぐるなび」「食べログ」など、グルメサイトを活用した PR

・QR コード決済 ペイペイ導入(8 月～)

・キャッシュレス 消費者還元事業参画

年間売上金額： 29,914,909 円 (同 96.2%)

年間利用者数： 33,891 名 (同 85.8%)

エ 通信販売部（でじまや・マダムバタフライ卸販売）

オリジナル通信販売サイト「でじまや」の他、コンベンションオリジナル商品「マダム・バタフライ」シリーズの販売強化のため、Amazonでの販売を開始し、また、ふるさと納税返礼品としての登録を行った。

通信販売部年間売上金額： 8,009,066円（同57.3%）

オ 企画商品（長崎遊学券）

長崎市内8ヶ所の主要観光施設の入場券と20ヶ所の人気観光施設の割引券がついた修学旅行生のためのお得で便利なガイドブック付き観光施設入場券「長崎遊学券」を発行し、長崎市への修学旅行を造成している旅行会社等に販売した。また、専用ホームページを開設し、情報発信を強化するとともに、これまでのファックスでの申し込みからオンラインでの申し込みに転換することで業務の効率化を図った。

入場券施設：グラバー園、出島、亀山社中記念館、長崎原爆資料館、長崎歴史文化博物館、シーボルト記念館、旧香港上海銀行長崎支店記念館、孔子廟・中国歴代博物館（中高生用のみ）、大浦天主堂（小学生用のみ）

販売単価：小学生用450円、中学生用550円、高校生用650円

販売実績： 合計 84,733冊（前年比 98.1%）

小学生用 27,442冊（同 94.0%）

中学生用 29,326冊（同 101.1%）

高校生用 27,965冊（同 99.2%）

年間売上金額： 46,655,450円（同 98.4%）

長崎遊学券公式ホームページ <https://nitca.sakura.ne.jp/yugakuken/>

カ グラバー園レトロ写真館

九州急行バス企画乗車券「長崎ぶらぶらきっぷ」への参画や、SNS発信用にフォトプロップスを設置するなどより売上向上を図った。

- ・トリップアドバイザーなど、旅行口コミサイトへの掲載
- ・QRコード決済 ペイペイ導入(8月～)
- ・キャッシュレス 消費者還元事業参画

年間売上金額：10,272,600円（同76.8%）

年間利用者数： 8,908名（同65.9%）

キ 旅行商品（浪漫ながさき旅情報）

人気の軍艦島上陸クルーズや福江島への日帰りツアーなど既存ツアーの代理販売を中心に絞り込みを行いホームページでの販売を行った。

年間参加者数：705人（前年比28.9%）

・軍艦島クルーズ 487人（同63.4%）

・観光丸セットプラン 44人（同97.7%）

・外海・池島バスツアー 68人（同31.9%）

・福江島日帰りツアー 106人（同110.4%）

年間売上金額：5,252,279千円（同27.3%）

## ク 亀山社中記念館売店

施設に関連書籍や坂本龍馬をテーマにした商品を販売した。

年間売上金額： 1,496,474 円（前年比 78.8%）

## ケ イベント販売

長崎くんちの手ぬぐいや関連グッズを販売する案内所兼店舗を浜町アーケードに10月1日（火）～9日（水）まで出店、前日7日・中日8日には中央公園会場にも出店した。

また、ランタンフェスティバル期間中の1月24日（金）～2月9日（日）17日間に渡り、湊公園会場と中央公園会場に出店。オリジナルグッズや、中国雑貨などを販売した。会員に期間限定のオリジナル商品を募集し、販売の場も提供するとともに、孔子廟・中国歴代博物館と共催で「長崎恋らんたん」を開催。恋らんたんに願い事を記入し、祈願所に奉納するもので、536人が来場した。

お客様の利便性向上のため QR コード決済（ペイペイ）を湊公園会場、中央公園会場、孔子廟会場に導入した。

くんち売店年間売上金額：4,088,440 円（同 80.3%）

ランタン売店売上金額： 7,325,923 円（同 63.2%）

恋ランタン売上金額： 536,000 円（同 49.9%）

ペーロン会場売上金額： 3,000 円

2020ランタンフェスティバル来場者数56万人（対前年比57.1%）

※新型コロナウイルスの影響を受け来場者数が対前年比42万人減少

## （2）地域受入基盤の強化

### ① 観光関連事業者の人材育成・スキルアップへの取り組み強化

接客サービス講習会等会員ニーズを踏まえた効果的な講習会

⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

## （3）長崎市からの受託

### ① 総合観光案内所業務（尾上町1-1アミュプラザ1階）

長崎市からの業務受託により JR長崎駅構内（アミュプラザ1階）の「総合観光案内所」において、来崎する内外観光客に長崎市内及び周辺地域の観光全般について、案内・説明・紹介にあたった。

また、ラッキー自動車（株）からの業務委託により、総合観光案内におけるタクシー観光案内を行った。

開所時間：年中無休 午前8時から午後8時まで

利用者総数：193,819名（前年比92%）

（単位：名）

観光案内全般	旅館案内	電話案内	文書案内	外国人案内	合計
107,513 （同 94%）	229 （同 45%）	2,682 （同 79%）	290 （同 79%）	83,105 （同 89%）	193,819 （同 92%）

### ② 出島受付業務（出島町6-1）

長崎市からの業務受託により受付及び入館料金の収納業務を行った。



開場時間：年中無休 午前 8 時から午後 9 時まで

入場者総数：計 459,147 名（同 86%）

③ 長崎市亀山社中記念館受付業務（伊良林 2 丁目 7-24）

長崎市からの業務受託により受付及び入館料金の収納業務を行った。

開館時間：年中無休 午前 9 時から午後 5 時まで

入場者総数：計 49,925 名（同 83%）

④ ボランティアガイド配置予定表作成業務

長崎市からの業務受託によりグラバー園及び出島の常駐ガイド配置業務を行った。（7 月～）

（4）観光地域づくりの支援

① 長崎市ペーロン協会、長崎ペーロン選手権大会実行委員会の運営

昭和 52 年 2 月 10 日に設立された「長崎市ペーロン協会」の事務局を担当し、伝統ある「ペーロン」の保存育成に努め、市内 22 地区の大会に地区大会助成を行った。また、兵庫県相生市、天草郡苓北町のペーロン大会にチームを派遣し親善交流に努めた。

ア 長崎市ペーロン協会

（ア）地区大会への助成

各地区ペーロン大会の実施に対し、補助金を交付した。

（イ）国内大会へのチームの派遣について

・「相生ペーロン祭」へ選手団派遣

派遣日程：5 月 24 日～5 月 27 日＜3 泊 4 日＞※往復車中移動日

大会日：5 月 26 日

派遣チーム：琴海尾戸チーム 一行 37 名

成績：一般男子 I 部出場 準優勝

・「令和元年苓北じゃっと祭天草れいほくペーロン大会」へ選手団派遣

派遣日程：7 月 13 日～14 日＜1 泊 2 日＞

大会日：7 月 14 日

派遣チーム：土井首チーム 一行 31 名

成績：一般男子の部出場 優勝

イ 長崎ペーロン選手権大会実行委員会

大会名称：令和元年度「長崎ペーロン選手権大会」

期 日：7 月 27 日～28 日＜2 日間＞

会 場：長崎港内（大会本部：松が枝国際観光埠頭）

競漕距離：1,150m（往路 630m 復路 520m）

出場チーム数

一般出場チーム（16 チーム）

内訳：長崎市内（10 チーム）長崎県内（3 チーム）学生（1 チーム）

長崎県外（2 チーム）※相生市、天草郡苓北町

職域対抗出場チーム（10 チーム）

中学校対抗出場チーム（5 チーム）

女性対抗出場チーム（5 チーム）

観客動員

7月27日 16,000人

7月28日 21,000人 (2日間合計 37,000人)

② 長崎ハタ揚げ振興会の運営

昭和57年3月に設立された「長崎ハタ揚げ振興会」の事務局を担当し、伝統ある長崎名物行事「ハタ揚げ」の振興を図り「長崎ハタ揚げ大会」を実施した。

長崎ハタ揚げ大会

大会名称：「平成31年長崎ハタ揚げ大会」

期 日：4月7日

会 場：長崎市唐八景公園

内 容：自由ハタ揚げ、ハタ揚げ名人模範演技、親子ハタ揚げ教室、ハタ合戦（予選16名）、開式セレモニー（長崎検番祝舞等）、ハタ合戦（決勝4名）、表彰式

観客動員：10,000人（前年比100%）

③ 長崎観光龍踊り会の運営

昭和54年2月13日に設立された「長崎観光龍踊り会」の事務局を担当し、長崎ランタンフェスティバル等2件の出演要請に応え、本市観光の宣伝と振興に寄与した。

出演の実績

日 程	イベント名
8月2日～4日	開港160周年記念「函館港まつりワッショイはこだて」
1月24日～2月9日 (うち7日間出演)	2020長崎ランタンフェスティバル

④ ロマン長崎選彰委員会の運営

平成2年3月より「ミス長崎選彰委員会」の事務局を担当。平成12年4月に「ロマン長崎選彰委員会」と改名し、「ロマン長崎」の公募、選考会、研修、選彰式を実施するとともに、観光宣伝隊・物産展・国際観光船の歓迎受入及び友好都市との親善交流等に派遣し、観光振興に努めた。

ア 2019年度ロマン長崎の選彰

「ロマン長崎」に改変後、初めて男性が選出された。

選彰式期日：4月27日 長崎開港記念日

会 場：長崎商工会議所2階ホール

氏 名：小谷花恵、岩本恵子、苑田大誠

イ 研修会

4月4日から4月18日までの5日間、マナー研修、美容研修、座学、観光地視察を実施した。

ウ 活動実績

出演件数：市内31件、市外22件（合計53件）

出演日数：市内48日、市外55日（合計103日）

依頼内訳：観光宣伝 15 件、物産店 6 件、国際観光船 4 件  
イベント 22 件、記念行事・式典等 6 件 計 53 件

#### (5) 経営管理委員会主導による事務局運営

役員で組織された専門委員会である経営管理委員会を 6 回開催し、経営計画に基づいた事業計画の進捗状況を報告し、会員協働による事業の推進を行った。

#### (6) 職員研修の実施

各種セミナー等への参加

#### (7) 会議、運営及び調査

##### ① 総会、理事会、監査会及び経営管理委員会の開催

- 5 月 1 4 日 第 1 回経営管理委員会 (13:30～長崎商工会館)
- 1 5 日 平成 3 0 年度監査会 (11:00～ホテル J A L シティ長崎)
- 6 月 3 日 理事会 (15:00～ザ・ホテル長崎 BW プレミアコレクション)
- 3 日 通常総会 (16:00～ザ・ホテル長崎 BW プレミアコレクション)
- 7 月 2 3 日 第 2 回経営管理委員会 (10:30～長崎県勤労福祉会館)
- 9 月 3 日 第 3 回経営管理委員会 (13:30～長崎県勤労福祉会館)
- 1 0 月 2 8 日 第 4 回経営管理委員会 (15:30～長崎県勤労福祉会館)
- 1 月 1 5 日 第 5 回経営管理委員会 (10:30～長崎県勤労福祉会館)
- 3 月 4 日 第 6 回経営管理委員会 (13:30～長崎県勤労福祉会館)
- 2 7 日 理事会 (10:00～長崎県勤労福祉会館)

##### ② 総会等への出席 (抜粋)

- 4 月 1 5 日 ながさきみなとまつり実行委員会 (15:15～長崎商工会館)
- 1 7 日 ロマン長崎選彰委員会役員会 (11:00～市文化観光部長室)
- 2 4 日 長崎開港記念会理事会・定期総会 (11:00～長崎商工会館)
- 2 6 日 長崎市新市街地活性化協議会 (10:00～長崎商工会館)
- 2 7 日 長崎開港記念行事 (11:00～長崎公園他)
- 5 月 1 5 日 長崎ランタンフェスティバル実行委員会総会 (10:00～長崎商工会館)
- 1 6 日 長崎市ペーロン協会・長崎ペーロン選手権大会合同総会 (15:00～長崎県勤労福祉会館)
- 1 6 日 長崎日伊協会総会 (17:30～ホテルニュー長崎)
- 1 7 日 長崎平和マラソン実行委員会 (14:00～セントヒル長崎)
- 2 7 日 ゴールデンウィーク交通対策実行委員会 (14:00～市役所会議室)
- 2 9 日 大村湾活性化協議会 (10:30～県庁会議室)
- 2 9 日 日本観光振興協会九州支部総会 (14:30～ホテルニュー長崎)
- 3 0 日 長崎港クルーズ客船受入委員会総会 (11:00～長崎市職員会館)
- 3 1 日 長崎県観光連盟理事会 (14:00～ANAクラウンプラザホテルグラバーヒル)
- 6 月 4 日 国道 34 号整備協議会等総会 (13:30～長崎県市町村会館)
- 7 日 長崎観光お客様ネット事業推進委員会 (16:00～市文化観光部長室)
- 7 日 長崎市国内観光客誘致推進実行委員会 (16:30～市文化観光部長室)
- 7 日 長崎観光龍踊り会役員会 (17:00～長崎タクシー会館)
- 1 0 日 長崎夜景プロモーション委員会 (15:00～長崎商工会館)
- 1 1 日 長崎新幹線・鉄道利用促進協議会等合同総会 (10:00～県庁会議室)
- 1 8 日 長崎市「街を美しくする運動」推進協議会理事会・総会 (13:00～セントヒル長崎)

- 7月24日 西彼杵道路・長崎南北道路幹線道路総会 (15:00～西海市役所総合支所)  
 29日 長崎港松が枝国際観光船埠頭整備促進期成会設立総会 (15:00～サンプリエール)
- 8月2日 MICE施設新築工事起工式 (10:00～長崎市尾上町)  
 19日 長崎新幹線建設推進実行委員会 (10:00～県庁会議室)  
 20日 長崎市中心部交通結節等検討会議 (13:30～長崎県農協会館)  
 22日 長崎開港450周年記念事業実行委員会設立総会 (15:00～ホテルニュー長崎)  
 23日 長崎MICE誘致推進協議会総会 (14:00～ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション)  
 27日 長崎日米協会理事会・通常総会 (14:30～ANAクラウンプラザホテルグラバーヒル)  
 29日 長崎MICE事業者ネットワーク幹事会・総会 (13:00～長崎市立図書館)
- 9月10日 九州新幹線西九州ルート整備推進協議会 (10:30～長崎商工会館)  
 25日 長崎地域雇用創造会議協議会総会 (10:00～市議会会議室)
- 11月7日 九州主要都市観光協会連絡協議会総会 (13:00～福岡市)  
 7日 九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会議 (15:00～福岡市)
- 1月31日 長崎市宿泊施設協議会全体会 (16:30～にしゅうかん新館梅松鶴)
- 2月5日 長崎日蘭協会理事会・総会 (14:00～ANAクラウンプラザホテルグラバーヒル)  
 7日 九州観光振興大会 (14:30～ANAクラウンプラザホテルグラバーヒル)  
 10日 長崎ハタ揚げ振興会総会 (15:00～長崎新聞アストピア)
- 3月10日 長崎バス観光開発振興基金理事会 (13:30～長崎バスターミナルホテル)  
 12日 長崎帆船まつり実行委員会 (19:00～長崎県勤労福祉会館)

#### (8) 会員の異動 (順不同)

入会 17、退会 21

[令和2年3月31日現在会員数 461]

入 会 (株) WONDERTRUNK&CO	入 会 (株) ALC
〃 (合) D.M.P LABO	〃 (一社) ジャパンショッピングツーリズム協会
〃 TOMATO DESIGN	〃 学校法人平成国際学園
〃 リードマップ (株)	〃 (株) BEYOND
〃 (株) 文旦堂	〃 (有) アクター企画
〃 (株) 長南	〃 (株) トラスティ建物管理
〃 (有) 長崎屋	〃 日本管財(株)九州本部
〃 戸田建設 (株) 九州支店	〃 (株) 九電工 長崎支店
〃 (株) ながさきMICE	

退 会 鋼和(株)	退 会 (株) ソフィア・ウイング
〃 (有) サンクス	〃 (株) ポルト
〃 (株) 五島製麺	〃 (有) 矢野設備工業所
〃 やすなが	〃 h y d - r a n g e a
〃 長崎ワシントンホテル	〃 昭和タクシー(有)
〃 野母崎ツーリズム振興会	〃 野母崎温泉 Alega 軍艦島
〃 居酒屋再来居	〃 大盛物産(有)
〃 (有) アドックス	〃 岩崎蒲鉾(株)
〃 長崎ホルモン	〃 (株) 宝広告社
〃 (株) 江崎べっ甲店	〃 上ノ原製茶園
〃 昭英印刷(有)	